

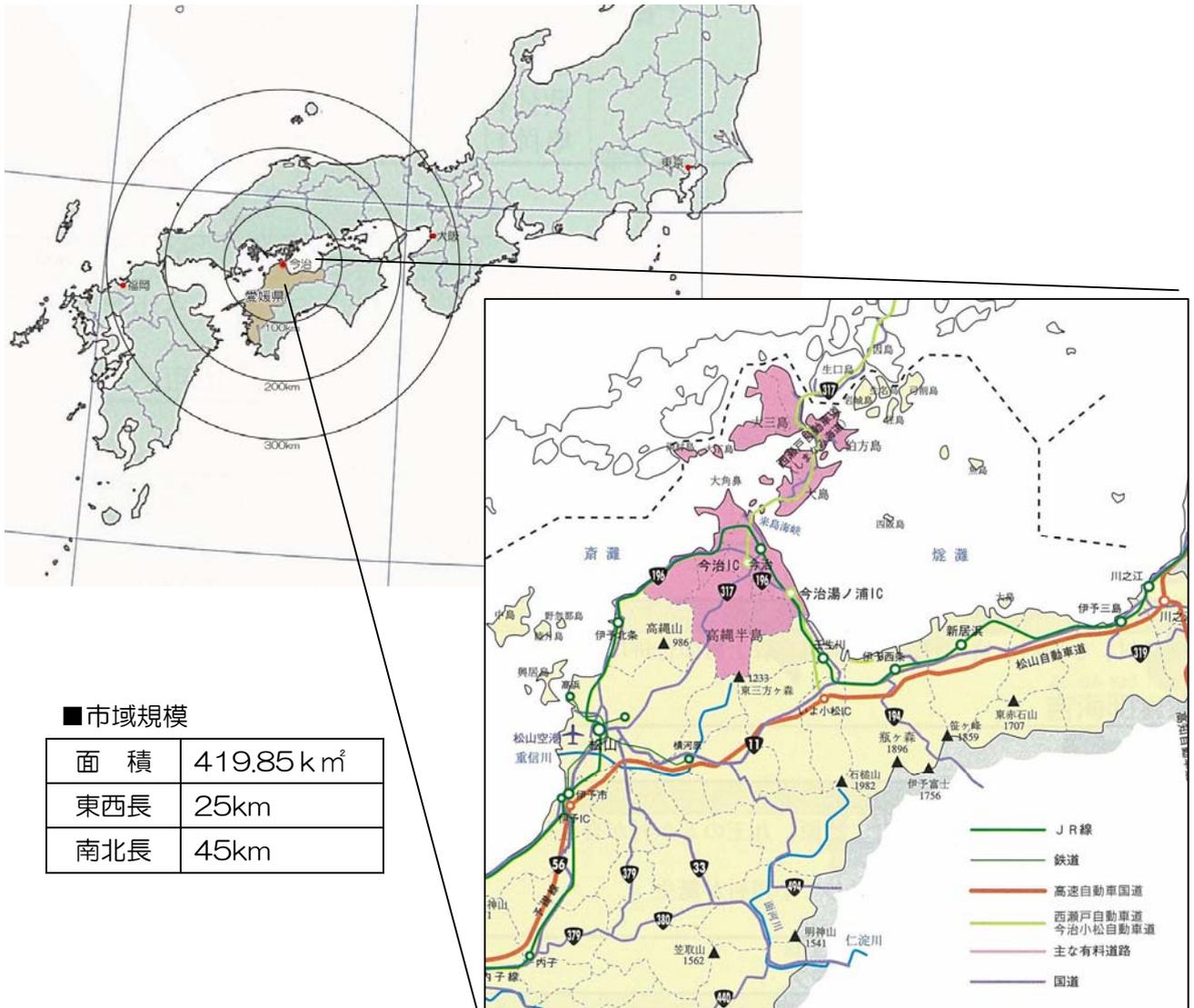
## 第2章 今治市の地域特性の把握

### 2-1 市の概況

瀬戸内海のほぼ中央に位置し、大阪市や福岡市を300km圏域に有している今治市は、古くより海上交通の要衝として栄え、東予地方の政治・経済・文化の中心地として発展してきた。

平成11年5月には、西瀬戸自動車道（瀬戸内しまなみ海道）が開通し、四国側玄関口となり、また、平成17年1月16日には、12市町村が広域合併し、愛媛県下第2の人口約18万人、面積約420km<sup>2</sup>の新「今治市」が誕生した。

#### ■今治市の位置



2-2 人口動態

1. 人口及び世帯数の推移

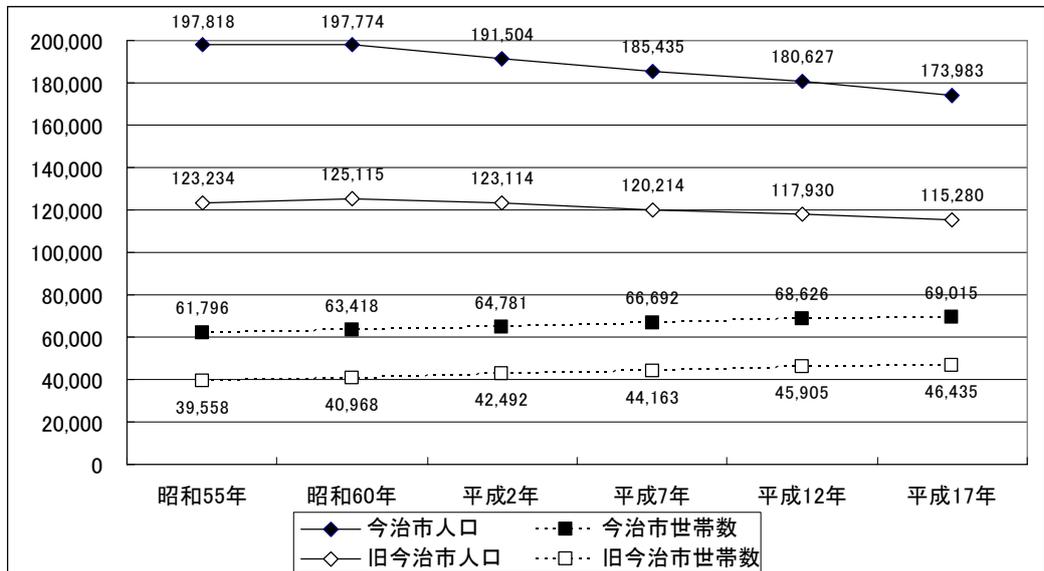
今治市の人口は、年々減少傾向にあり、昭和60年以降は5年間に約5,000~6,000人の減少で推移している。世帯数においては、微増傾向にある。

旧市町村別では、旧波方町や旧菊間町、島しょ部の旧伯方町、旧上浦町、旧大三島町などで特に減少傾向が強いが、市南部の旧朝倉村や旧玉川町では世帯数が増加しており、一定の人口を維持している。

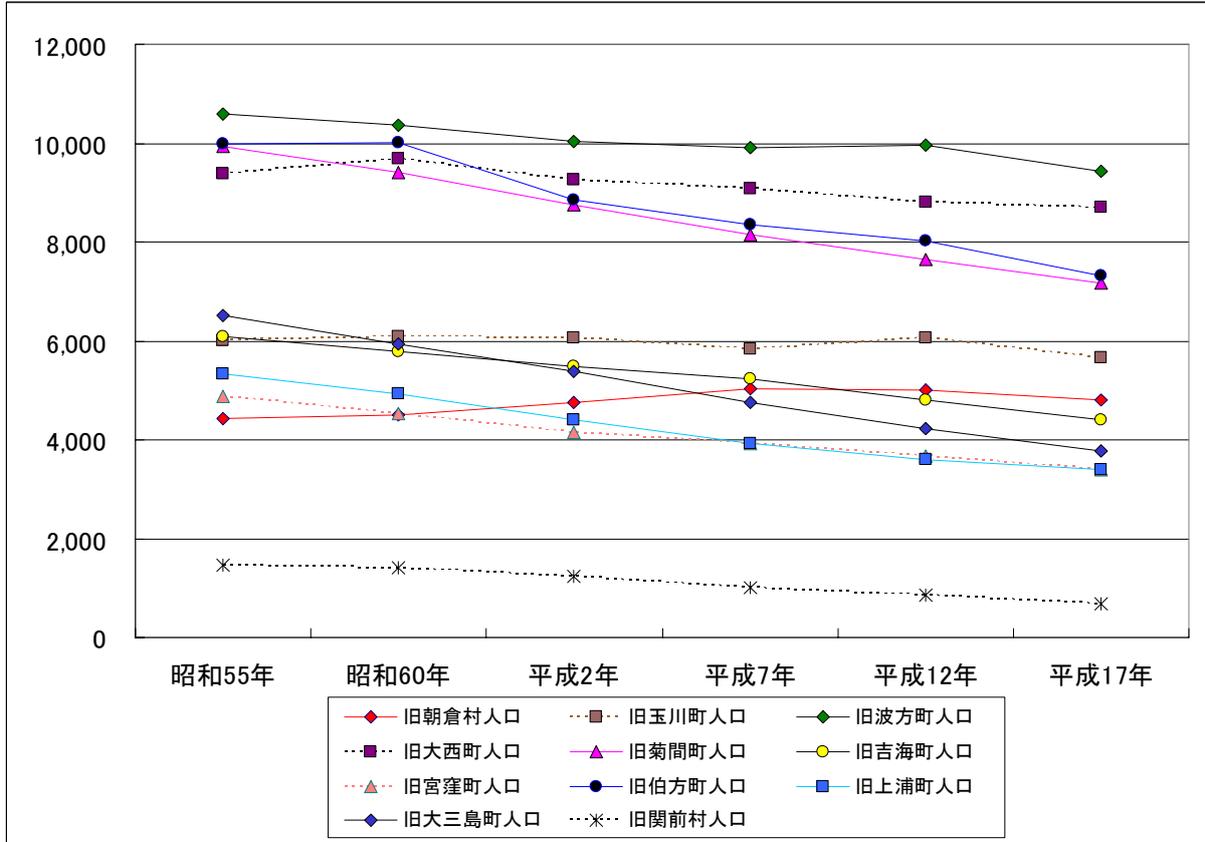
■人口・世帯数の推移

		昭和55年	昭和60年	平成2年	平成7年	平成12年	平成17年
今治市	人口	197,818	197,774	191,504	185,435	180,627	173,983
	世帯数	61,796	63,418	64,781	66,692	68,626	69,015
旧今治市	人口	123,234	125,115	123,114	120,214	117,930	115,280
	世帯数	39,558	40,968	42,492	44,163	45,905	46,435
旧朝倉村	人口	4,422	4,504	4,753	5,044	5,008	4,816
	世帯数	1,173	1,207	1,363	1,509	1,625	1,647
旧玉川町	人口	6,005	6,099	6,069	5,847	6,072	5,649
	世帯数	1,638	1,715	1,787	1,763	1,970	1,997
旧波方町	人口	10,587	10,363	10,029	9,914	9,960	9,426
	世帯数	2,793	2,820	2,870	2,973	3,145	3,322
旧大西町	人口	9,374	9,693	9,269	9,071	8,802	8,704
	世帯数	2,594	2,828	2,747	2,939	2,978	3,170
旧菊間町	人口	9,934	9,415	8,758	8,159	7,651	7,163
	世帯数	2,788	2,733	2,764	2,764	2,739	2,683
旧吉海町	人口	6,077	5,788	5,489	5,224	4,799	4,399
	世帯数	2,019	2,012	2,011	2,046	1,959	1,873
旧宮窪町	人口	4,890	4,537	4,140	3,922	3,671	3,391
	世帯数	1,545	1,473	1,373	1,335	1,302	1,267
旧伯方町	人口	9,977	10,007	8,861	8,356	8,031	7,328
	世帯数	3,080	3,204	3,038	3,063	3,076	2,978
旧上浦町	人口	5,331	4,925	4,401	3,929	3,606	3,385
	世帯数	1,715	1,696	1,671	1,618	1,552	1,509
旧大三島町	人口	6,518	5,931	5,396	4,746	4,232	3,769
	世帯数	2,340	2,231	2,163	2,062	1,947	1,782
旧関前村	人口	1,469	1,397	1,225	1,009	865	673
	世帯数	553	531	502	457	428	352

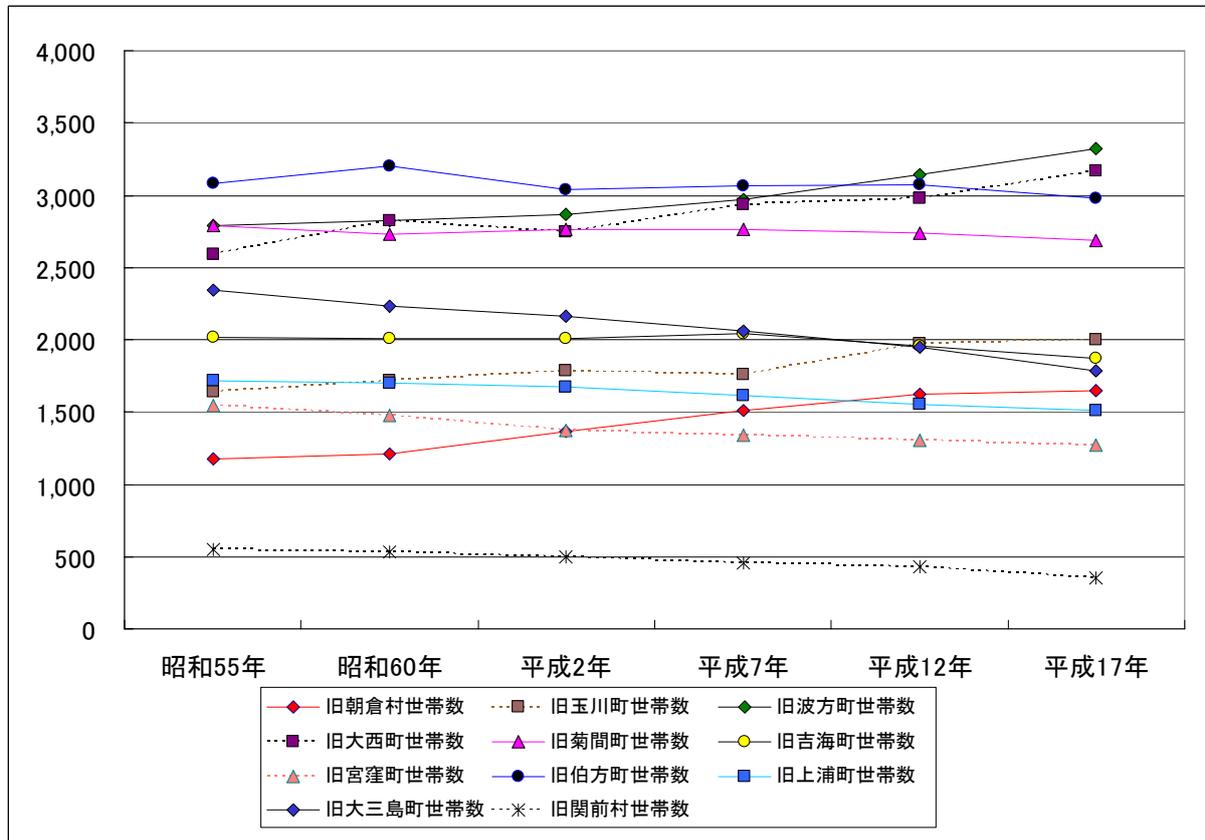
(今治市、旧今治市の人口・世帯数の推移)



(旧町村の人口の推移)



(旧町村の世帯数の推移)



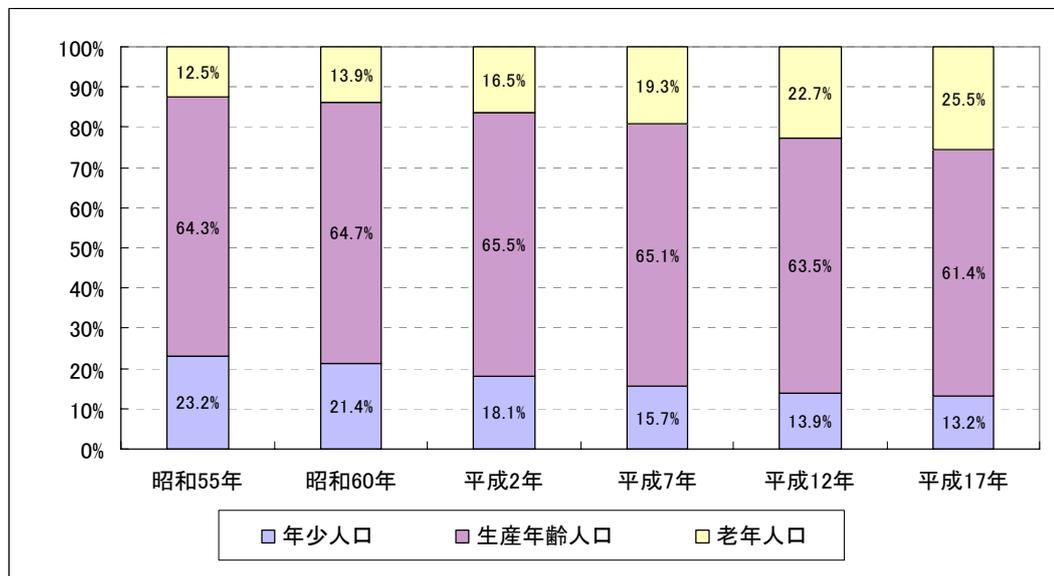
2. 年齢階層別人口の推移

今治市の年齢階層別人口は、急速な少子高齢化の傾向にあり、老年人口（65歳以上）は年々増加を続け、既に25%を超えている。

また、年少人口（15歳未満）の減少傾向は著しく、昭和55年からの25年間で約半数にまで減少している。

■年齢階層別人口の推移

		昭和55年	昭和60年	平成2年	平成7年	平成12年	平成17年
今治市	年少人口	45,865	42,350	34,620	28,887	25,068	22,893
	生産年齢人口	127,248	127,944	125,370	119,982	114,626	106,758
	老年人口	24,696	27,480	31,514	35,564	40,931	44,319
	年少構成比	23.2%	21.4%	18.1%	15.7%	13.9%	13.2%
	生産年齢構成比	64.3%	64.7%	65.5%	65.1%	63.5%	61.4%
	老年構成比	12.5%	13.9%	16.5%	19.3%	22.7%	25.5%
旧今治市	年少人口	30,195	28,064	23,108	19,498	16,947	15,954
	生産年齢人口	80,102	82,329	82,680	80,083	77,243	72,870
	老年人口	12,937	14,722	17,326	20,633	23,740	26,446
旧朝倉村	年少人口	917	906	897	871	750	619
	生産年齢人口	2,758	2,794	2,958	3,115	3,114	2,894
	老年人口	747	804	898	1,058	1,144	1,303
旧玉川町	年少人口	1,201	1,197	1,069	848	827	702
	生産年齢人口	3,865	3,859	3,793	3,576	3,684	3,329
	老年人口	939	1,043	1,207	1,421	1,559	1,618
旧波方町	年少人口	2,501	2,186	1,744	1,469	1,374	1,184
	生産年齢人口	6,797	6,704	6,614	6,583	6,493	5,933
	老年人口	1,289	1,473	1,671	1,862	2,093	2,309
旧大西町	年少人口	2,478	2,401	1,926	1,549	1,348	1,185
	生産年齢人口	5,877	6,172	6,095	6,083	5,829	5,667
	老年人口	1,011	1,120	1,248	1,439	1,625	1,852
旧菊間町	年少人口	2,010	1,808	1,410	1,118	915	835
	生産年齢人口	6,470	6,055	5,622	5,063	4,559	4,045
	老年人口	1,454	1,552	1,726	1,978	2,177	2,283
旧吉海町	年少人口	1,092	939	768	637	512	432
	生産年齢人口	3,698	3,450	3,246	2,926	259	2,316
	老年人口	1,287	1,399	1,475	1,661	1,688	1,648
旧宮窪町	年少人口	965	832	652	577	511	450
	生産年齢人口	3,136	2,895	2,621	2,346	2,077	1,861
	老年人口	789	810	867	999	1,083	1,080
旧伯方町	年少人口	2,257	2,103	1,640	1,337	1,132	901
	生産年齢人口	6,370	6,413	5,551	5,138	4,784	4,230
	老年人口	1,349	1,491	1,670	1,881	2,115	2,197
旧上浦町	年少人口	1,014	836	591	420	349	314
	生産年齢人口	3,268	2,974	2,545	2,197	1,869	1,637
	老年人口	1,049	1,115	1,265	1,312	1,388	1,434
旧大三島町	年少人口	1,016	920	702	474	340	281
	生産年齢人口	4,029	3,459	2,969	2,398	1,994	1,707
	老年人口	1,473	1,552	1,725	1,874	1,898	1,781
旧関前村	年少人口	219	158	113	89	63	36
	生産年齢人口	878	840	676	474	381	269
	老年人口	372	399	436	446	421	368



### 3. 通勤・通学流動

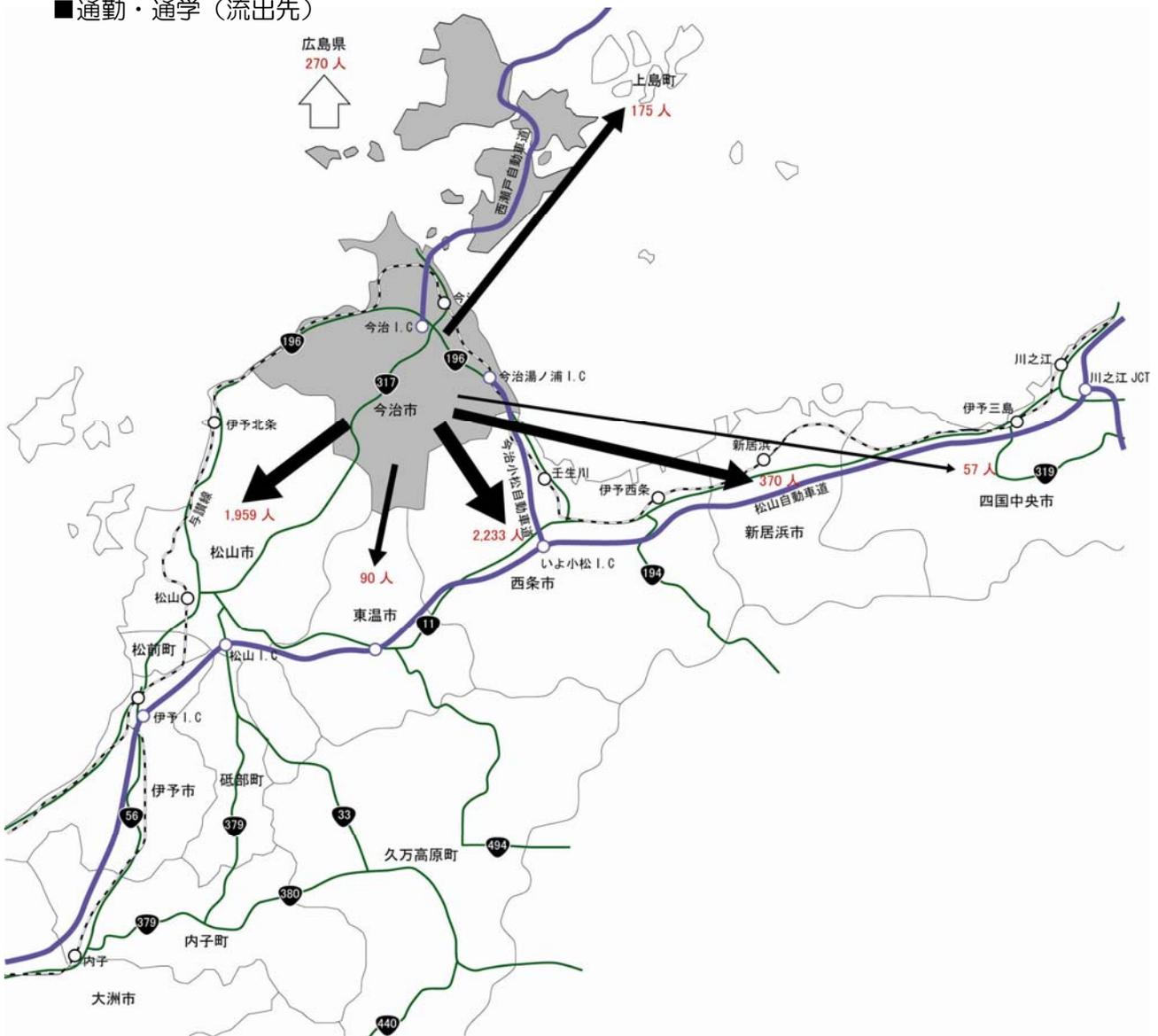
今治市の通勤・通学流動は、自市内流動が非常に高く、他市町への流出・流入の割合は10%未満と低い状況にある。

流出・流入先では、いずれも西条市が最も多く全体の約40%を占め、次いで松山市が多くなっている。

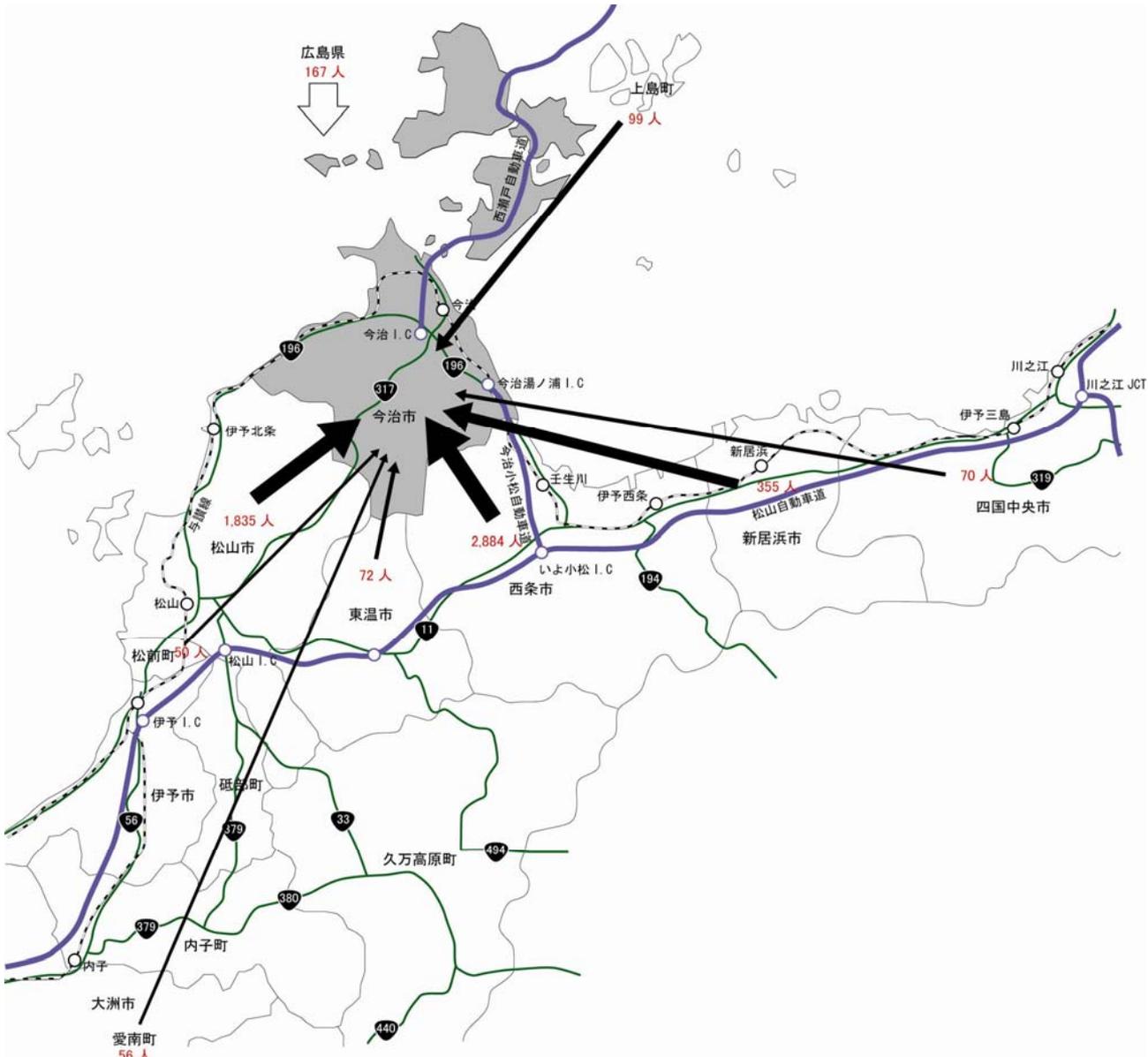
■今治市の通勤・通学流動

		流出先			流入先		
		市町村名	流出人口 (人)	構成比 (%)	市町村名	流入人口 (人)	構成比 (%)
平成17年	第1位	西条市	2,233	40.3%	西条市	2,884	42.9%
	第2位	松山市	1,959	35.3%	松山市	1,835	27.3%
	第3位	新居浜市	370	6.7%	新居浜市	355	5.3%
	第4位	上島町	175	3.2%	上島町	99	1.5%
	第5位	東温市	90	1.6%	四国中央市	70	1.0%
		今治市計	流出計	5,542	6.4%	流入計	6,721
		自市内計	81,238	93.6%	自市内計	81,238	92.4%
		通勤・通学者数	86,780	100.0%	通勤・通学者数	87,959	100.0%

■通勤・通学（流出先）



■通勤・通学（流入先）



## 2-3 産業動向

## 1. 産業別就業者数の推移

今治市の産業別就業者数は、年々減少傾向にあり、すべての産業で減少傾向を辿っている。産業比率では、第2次産業が減少傾向を示し、第3次産業の割合が増加している。

## ■産業別就業者数の推移

	平成2年		平成7年		平成12年		平成17年	
	就業者数(人)	構成比(%)	就業者数(人)	構成比(%)	就業者数(人)	構成比(%)	就業者数(人)	構成比(%)
第1次産業	2,614	4%	2,447	4%	7,043	8%	6,539	8%
第2次産業	23,139	39%	22,065	38%	29,609	35%	26,501	33%
第3次産業	33,011	56%	33,879	58%	48,048	57%	46,659	59%
分類不能	28	0%	32	0%	21	0%	239	0%
合計	58,792	-	58,423	-	84,700	-	79,699	-

## 2. 産業大分類別事業所数及び従業者数の推移

産業大分類別の事業所数及び従業者数では、事業所数は年々減少傾向にあるものの、従業者数では平成18年に増加へ転じている。

愛媛県及び周辺市町においても、ほぼ同じ傾向を示している。

## ■県及び周辺市町の事業所数・従業者数の推移

	事業所数			従業者数		
	平成13年	平成16年	平成18年	平成13年	平成16年	平成18年
今治市	10,766	9,788	9,637	72,299	67,655	74,280
松山市	24,544	22,367	21,655	217,452	205,834	217,894
西条市	5,411	5,024	5,250	43,733	41,045	46,074
東温市	1,212	1,222	1,319	12,288	12,394	15,557
新居浜市	6,061	5,603	5,622	54,288	49,407	54,894
四国中央市	5,119	4,772	4,825	44,243	41,985	44,240
伊予市	1,859	1,729	1,768	14,130	12,702	14,406
砥部町	967	930	944	9,532	8,079	8,699
久万高原町	690	647	708	3,783	3,429	4,089
愛媛県	76,971	70,965	71,594	594,719	556,411	609,667

## ■産業別事業所数・従業者数の推移

	事業所数			従業者数		
	平成13年	平成16年	平成18年	平成13年	平成16年	平成18年
農林漁業	32	27	33	383	253	317
鉱業	48	41	38	345	293	262
建設業	1,146	1,056	967	7,831	7,215	7,208
製造業	1,371	1,183	1,040	16,957	15,033	15,363
電気・ガス・熱供給・水道業	4	3	11	255	204	297
運輸・通信業	470	446	421	5,747	5,572	5,475
卸売・小売業、飲食店	4,681	4,279	4,034	21,860	21,545	20,863
金融・保険業	157	137	139	1,729	1,562	1,583
不動産業	215	204	197	590	529	601
サービス業	2,642	2,412	2,658	16,602	15,449	20,067
総数	10,766	9,788	9,637	72,299	67,655	74,280

### 3. 商業の推移

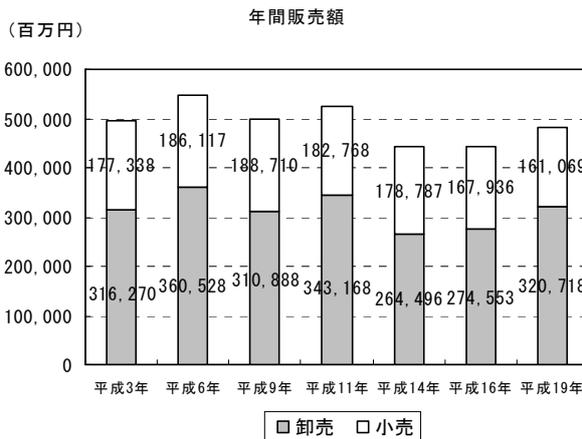
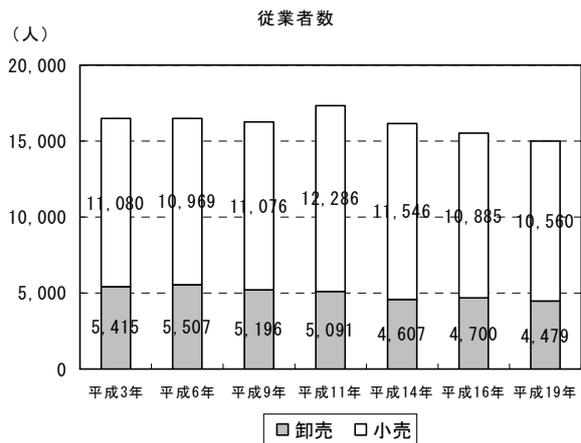
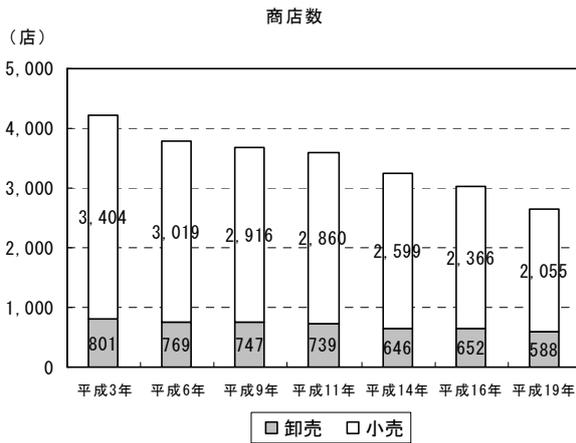
今治市の商業は、商店数及び年間販売額は減少傾向にあるものの、従業者数はほぼ横ばいで推移している。

特に小売業では、商店数の減少が著しい状況にある。

#### ■商業の推移

		平成3年	平成6年	平成9年	平成11年	平成14年	平成16年	平成19年
商店数 (店)	総数	4,205	3,788	3,663	3,599	3,245	3,018	2,643
	卸売	801	769	747	739	646	652	588
	小売	3,404	3,019	2,916	2,860	2,599	2,366	2,055
従業者数 (人)	総数	16,495	16,476	16,272	17,377	16,153	15,585	15,039
	卸売	5,415	5,507	5,196	5,091	4,607	4,700	4,479
	小売	11,080	10,969	11,076	12,286	11,546	10,885	10,560
年間商品販売額 (百万円)	総数	493,608	546,645	499,598	525,936	443,283	442,489	481,787
	卸売	316,270	360,528	310,888	343,168	264,496	274,553	320,718
	小売	177,338	186,117	188,710	182,768	178,787	167,936	161,069

資料：商業統計調査



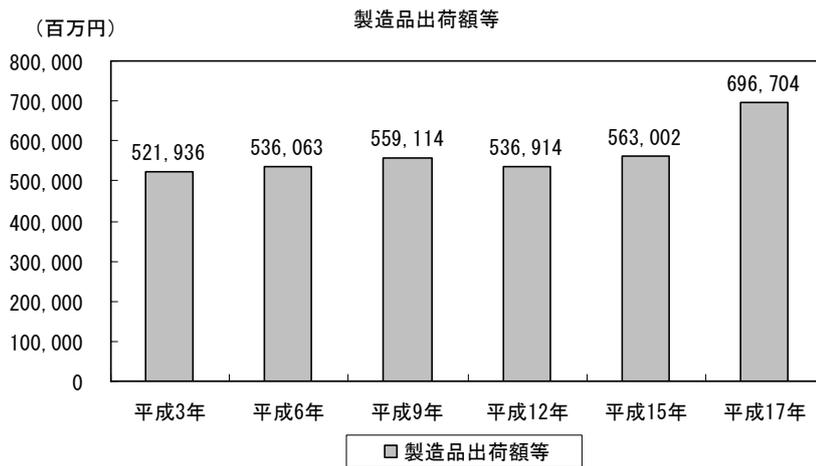
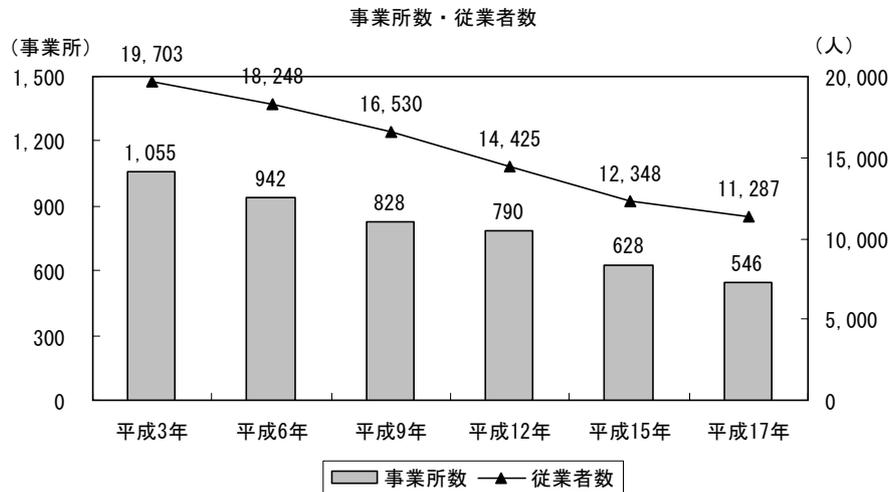
#### 4. 工業の推移

今治市の工業は、事業所数と従業者数は著しい減少を示しているが、製造品出荷額等においては近年大幅な増加となっている。

##### ■工業の推移

	平成3年	平成6年	平成9年	平成12年	平成15年	平成17年
事業所数 (事業所)	1,055	942	828	790	628	546
従業者数 (人)	19,703	18,248	16,530	14,425	12,348	11,287
製造品出荷額等 (百万円)	521,936	536,063	559,114	536,914	563,002	696,704

資料：事業所・企業統計調査



## 5. 観光の状況

## ①観光客数の推移

今治市の観光客数は、県内観光客が約6割を占め、県外では中国地方からの観光客が多くなっている。

観光客数全体では、約230万人前後で推移している。

## ■今治圏域の観光客数の推移 (千人)

	平成15年	平成16年	平成17年	平成18年
県内観光客数	2,368	2,411	2,256	2,262
県外観光客数	1,545	1,728	1,583	1,660
近畿	108	155	168	168
中国	553	694	594	606
九州	120	138	143	137
四国3県	319	295	232	285
その他	445	446	446	464

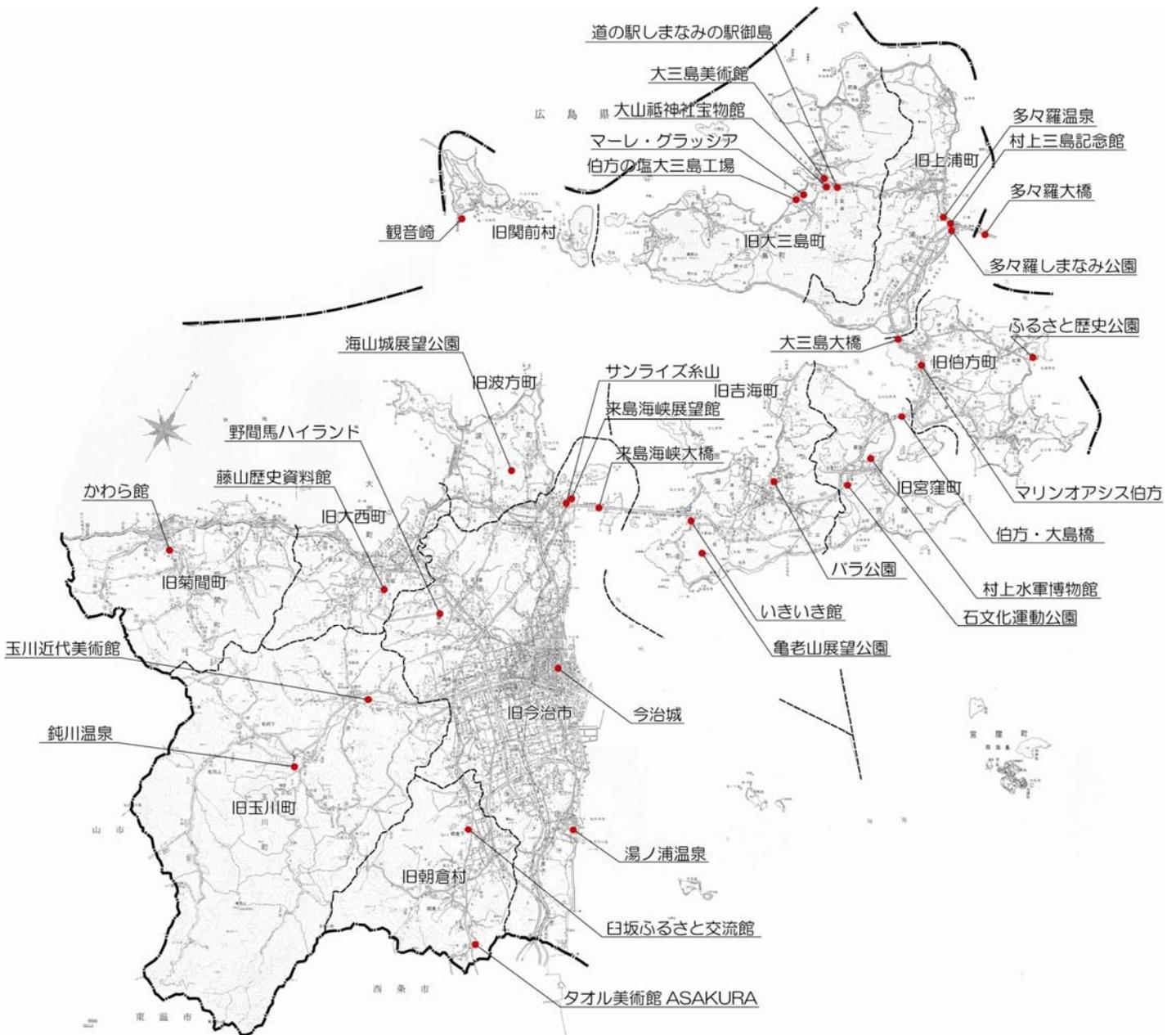
資料：観光統計調査

## ②主要観光施設利用者数

市内の主要観光施設は、瀬戸内しまなみ海道の4つの大橋の観光客が圧倒的に多く、施設では湯ノ浦温泉や鈍川温泉、タオル美術館 ASAKURA、多々羅しまなみ公園などが多くの観光客を有している。

	平成17年	平成18年	平成19年	H18/H17	H19/H18
臼坂ふるさと交流館	40,732	38,193	36,174	93.8%	94.7%
タオル美術館ASAKURA	269,284	282,165	315,383	104.8%	111.8%
鈍川温泉	321,873	327,445	311,091	101.7%	95.0%
玉川近代美術館	4,899	7,666	4,821	156.5%	62.9%
かわら館	9,079	9,024	8,998	99.4%	99.7%
藤山歴史資料館	4,007	1,062	1,093	26.5%	102.9%
海山城展望公園	7,490	6,990	6,505	93.3%	93.1%
来島海峡展望館	114,920	85,400	118,100	74.3%	138.3%
サンライズ糸山	176,500	188,423	218,500	106.8%	116.0%
湯ノ浦温泉	380,548	392,254	357,865	103.1%	91.2%
野間馬ハイランド	143,950	122,215	129,465	84.9%	105.9%
今治城	27,770	28,793	31,458	103.7%	109.3%
いきいき館	105,042	114,473	131,044	109.0%	114.5%
ローズ館	74,065	79,309	76,250	107.1%	96.1%
郷土文化センター	3,863	3,952	4,321	102.3%	109.3%
バラ公園	110,500	118,800	113,900	107.5%	95.9%
亀老山展望公園	74,000	75,500	75,500	102.0%	100.0%
石文化運動公園	29,232	30,341	25,580	103.8%	84.3%
村上水軍博物館	47,747	45,010	48,041	94.3%	106.7%
マリノアアシス伯方	121,607	157,148	230,961	129.2%	147.0%
ふるさと歴史公園	3,833	4,850	4,636	126.5%	95.6%
多々羅しまなみ公園	216,980	240,528	272,737	110.9%	113.4%
多々羅温泉	49,528	50,773	51,661	102.5%	101.7%
村上三島記念館	3,381	3,770	4,568	111.5%	121.2%
しまなみの駅御島	123,302	132,788	136,916	107.7%	103.1%
大三島美術館	4,939	4,458	4,311	90.3%	96.7%
マーレ・グラッシア	183,516	183,202	175,446	99.8%	95.8%
大山祇神社宝物館	67,747	65,120	59,313	96.1%	91.1%
伯方の塩大三島工場	58,001	62,893	75,069	108.4%	119.4%
観音崎	1,095	1,035	1,019	94.5%	98.5%
多々羅大橋	1,435,199	1,636,478	1,722,169	114.0%	105.2%
大三島大橋	1,880,133	2,071,784	2,162,977	110.2%	104.4%
伯方・大島大橋	2,208,087	2,419,775	2,525,836	109.6%	104.4%
来島海峡大橋	2,171,015	2,404,622	2,540,664	110.8%	105.7%

■観光施設の位置



## 2-4 都市の状況

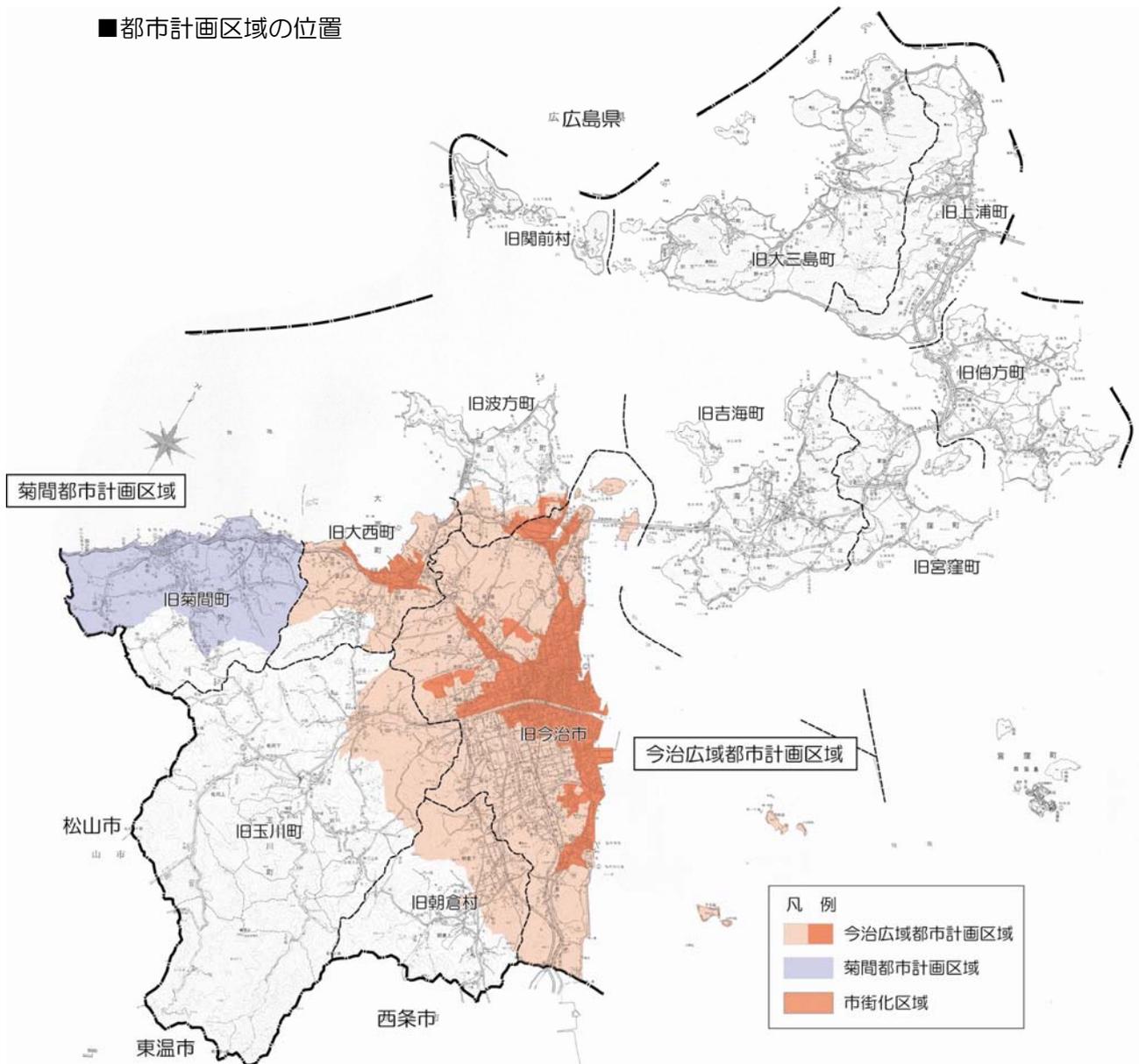
### 1. 都市計画の指定状況

本市では、旧今治市を中心とする線引き都市計画区域である「今治広域都市計画区域」と、旧菊間町の非線引き都市計画区域である「菊間都市計画区域」が指定されている。

今治広域都市計画区域は、区域面積が 11,866ha であり、そのうちの約 20%にあたる 2,291ha が市街化区域に指定されている。

菊間都市計画区域は、区域面積は 2,789ha で、市街化区域の指定はないものの、186ha で用途地域が指定されている。

■都市計画区域の位置

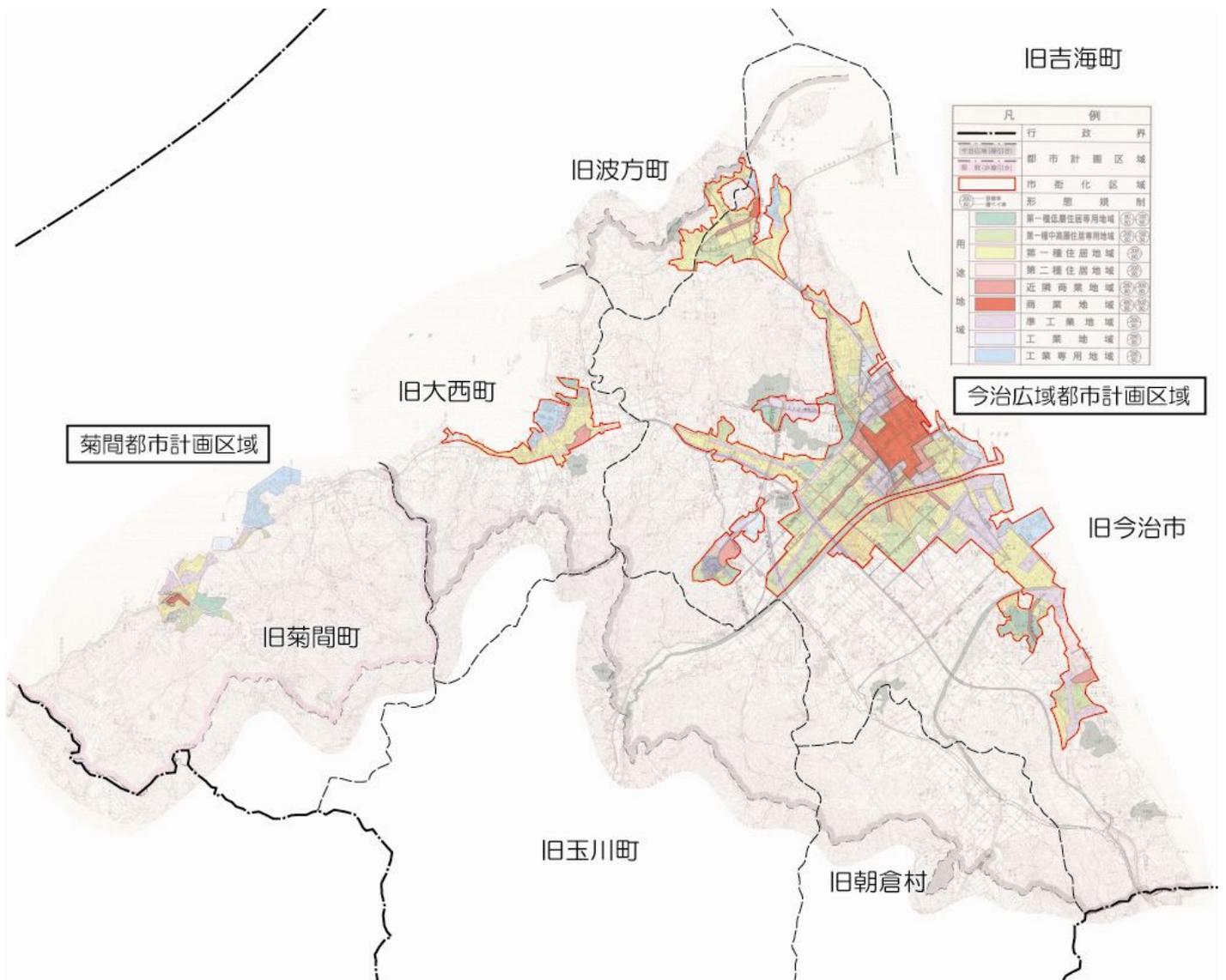


## 2. 市街地の状況

今治市の市街地は、JR 今治駅や今治港を中心とする大きな市街地が燧灘（ひうちなだ）に沿って形成されており、内陸部では広域幹線道路沿いに市街地の広がりをみせ、旧波方町や旧大西町では一定の市街地が形成されている。

駐車場整備地区の対象となる商業地域や近隣商業地域は、今治駅から今治港まで市街地中心部のエリアで大きく指定されているが、その他は幹線道路沿道に点在するのみとなっている。

### ■地域地区の指定状況



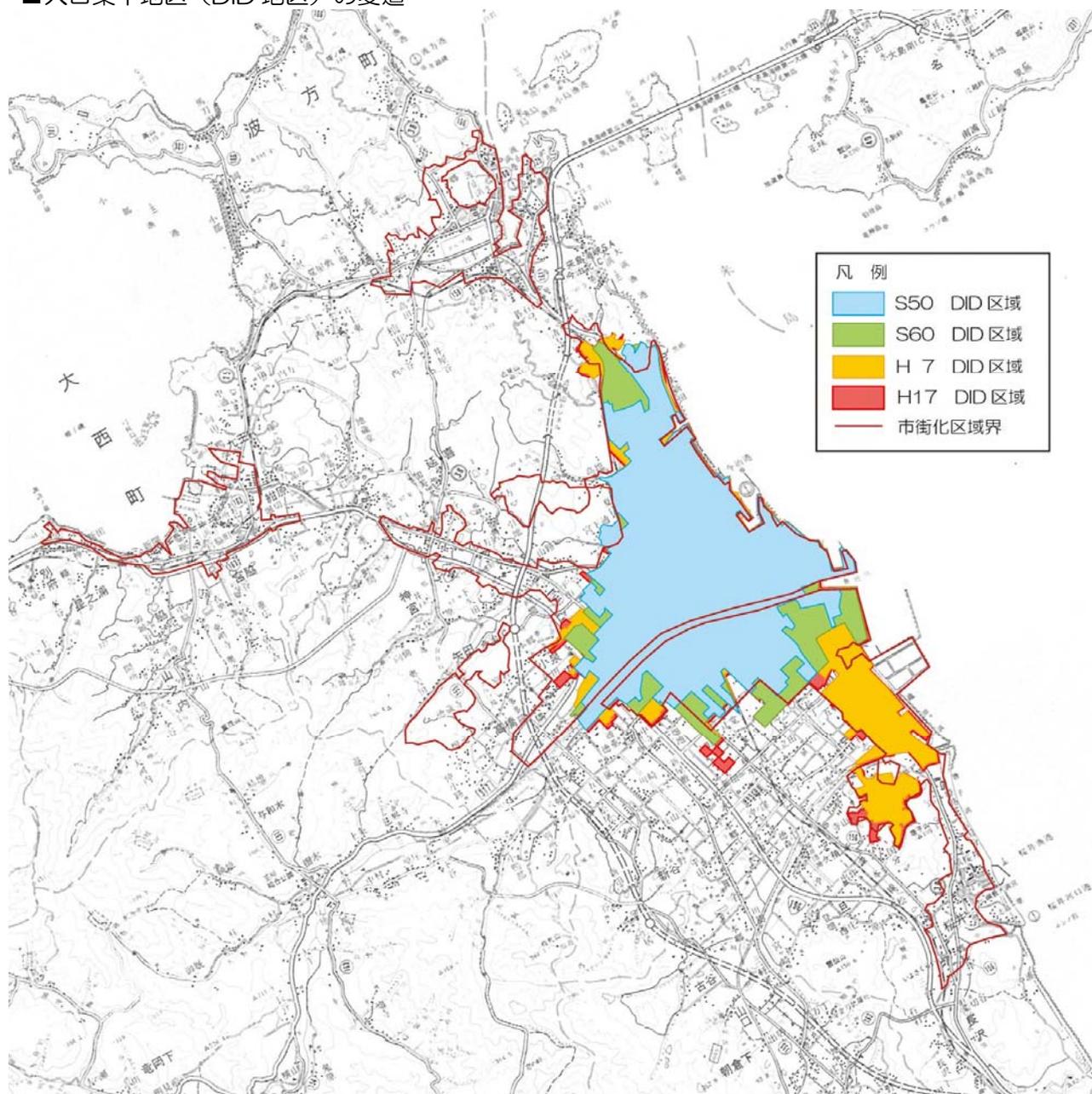
### 3. 人口集中地区の変遷

本市の人口集中地区は、JR 今治駅及び今治港を中心とするエリアに見られ、平成7年には東南方面の桜井地区に大きな広がりを見せている。

人口集中地区の規模は、年々拡大傾向にあるが、地区内人口及び人口密度は低下している。

	昭和 50 年	昭和 60 年	平成 7 年	平成 17 年
人口集中地区面積(k m <sup>2</sup> )	9.8	11.5	13.7	13.8
地区内人口(人)	64,051	63,171	68,307	64,685
人口密度(人/k m <sup>2</sup> )	6,536	5,493	4,975	4,684

#### ■人口集中地区（DID 地区）の変遷



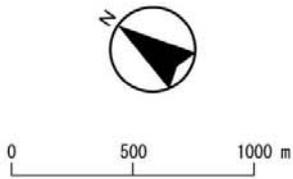
2-5 上位・関連計画

1. 上位計画

計画名称	今治市都市計画マスタープラン
策定年次	平成21年3月
まちづくりの目標 (市街地地域)	<p>■地域づくりのテーマ  <b>「歴史を育み、新しい生活文化が生まれるまち」</b></p> <p>■地域づくりの目標</p> <p>◇これまで形成されてきた都市のストックを活用しながら、良好な住環境の創出と、若者から高齢者まで豊かなライフスタイルが可能な生活空間の形成を目指します。</p> <p>◇快適で安心して移動できる歩行者空間の形成と、中心市街地に訪れやすい交通環境の充実を目指します。</p> <p>◇今治らしさを象徴する地域資源を保全・活用しながら、美しさと賑わいのある魅力的な地域づくりを目指します。</p>
<p>■地域づくりの方針</p>	
<p>■駐車場整備地区内の関連方針</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ JR今治駅から今治港に至る中心市街地では、商業・業務機能をはじめ、行政、福祉・医療、情報発信、レクリエーション施設など幅広い施設を誘導することで、複合的な都市機能の集積を図ります。</li> <li>・ 今治港蔵敷地区を流通業務地とし、海上交通利便性を生かした流通業務系の土地利用を図ります。</li> <li>・ 中心市街地周辺の複合住宅地では、繊維関連の中小工場と住宅等が共存した職住近接型の住宅地の形成を図ります。</li> </ul>	

- ・多様で魅力ある中層住宅などの立地を重点的あるいは優先的に誘導させる地区においては、日照やオープンスペースの確保など良好な住環境を創出しながらまちなか居住を推進します。
- ・民間住宅建設の促進を図るために、「今治市まちなか居住促進事業補助金制度」を活用するほか、各種助成制度の導入を検討します。
- ・交通利便性や既存の商業・行政・福祉・医療施設などの集積による生活利便性に加え、新たな都市機能の導入などによるまちなかの魅力向上を図ります。
- ・今治駅から市役所・総合福祉センター周辺までのエリアをはじめとして、歩道のバリアフリー化を推進します。
- ・歩行者や自転車利用者の安全な移動を確保するために、日吉地区、常盤地区を「あんしん歩行エリア」に指定し、交通安全対策として交差点改良や交通規制などを推進します。
- ・(都)広小路線、(都)宮脇片山線、国道317号などの骨格となる幹線道路をはじめ、格子状に整備された道路網の適切な維持管理を図るとともに、人と環境にやさしい道路空間の充実を図ります。
- ・自動車交通の輻輳する中心市街地においては、駐車需要に応じた民間駐車場の整備促進と公的駐車場の適切な配置を検討します。
- ・今治駅東口駅前広場の再整備を検討します。

■都市計画マスタープラン 地域別の整備方針（市街地地域）



凡 例	
<span style="display:inline-block; width:15px; height:15px; background-color: #f08080; border: 1px solid black;"></span>	中心市街地
<span style="display:inline-block; width:15px; height:15px; background-color: #ff69b4; border: 1px solid black;"></span>	商業業務地
<span style="display:inline-block; width:15px; height:15px; background-color: #ffa500; border: 1px solid black;"></span>	沿道サービス地
<span style="display:inline-block; width:15px; height:15px; background-color: #00bfff; border: 1px solid black;"></span>	生産型工業地
<span style="display:inline-block; width:15px; height:15px; background-color: #6495ed; border: 1px solid black;"></span>	流通業務地
<span style="display:inline-block; width:15px; height:15px; background-color: #ffff00; border: 1px solid black;"></span>	複合住宅地
<span style="display:inline-block; width:15px; height:15px; background-color: #ffff00; border: 1px solid black;"></span>	一般住宅地
<span style="display:inline-block; width:15px; height:15px; background-color: #90ee90; border: 1px solid black;"></span>	専用住宅地
<span style="display:inline-block; width:15px; height:15px; background-color: #90ee90; border: 1px solid black;"></span>	農地・集落地等
<span style="display:inline-block; width:15px; height:15px; background-color: #32cd32; border: 1px solid black;"></span>	森林・緑地
<span style="display:inline-block; width:15px; height:15px; background-color: #800080; border: 1px solid black;"></span>	自動車専用道路
<span style="display:inline-block; width:15px; height:15px; background-color: #800080; border: 1px dashed black;"></span>	自動車専用道路(計画・構想)
<span style="display:inline-block; width:15px; height:15px; border: 2px solid black;"></span>	主要な幹線道路
<span style="display:inline-block; width:15px; height:15px; border: 2px dashed black;"></span>	主要な幹線道路(計画・構想)
<span style="display:inline-block; width:15px; height:15px; border-bottom: 2px solid black;"></span>	鉄道
<span style="display:inline-block; width:15px; height:15px; background-color: #006400; border: 1px solid black;"></span>	主要な公園・緑地・墓園
<span style="display:inline-block; width:15px; height:15px; background-color: #006400; border: 1px dashed black;"></span>	自然公園区域等
<span style="display:inline-block; width:15px; height:15px; background-color: #000000; border: 1px solid black; border-radius: 50%;"></span>	主要な歴史文化的資源
<span style="display:inline-block; width:15px; height:15px; background-color: #add8e6; border: 1px solid black;"></span>	水面・水辺
<span style="display:inline-block; width:15px; height:15px; border: 2px dashed black;"></span>	都市計画区域

【地域づくりの方針】

2. 関連計画

計画名称	今治市都市再生プログラム策定調査報告書
策定年次	平成21年3月
基本的な考え方	コンパクトシティ形成に向けた街なか交流 ～街なかに市民交流拠点を設置し、賑わいを取り戻す～

■ 中心市街地に求められる機能

【賑わい機能】

- ・商業施設、イベント広場、アミューズメント施設 等

【市民交流機能】

- ・憩い施設、多目的ホール、会議室、集会室 等

【市民活動機能】

- ・市民活動センター、NPO施設 等

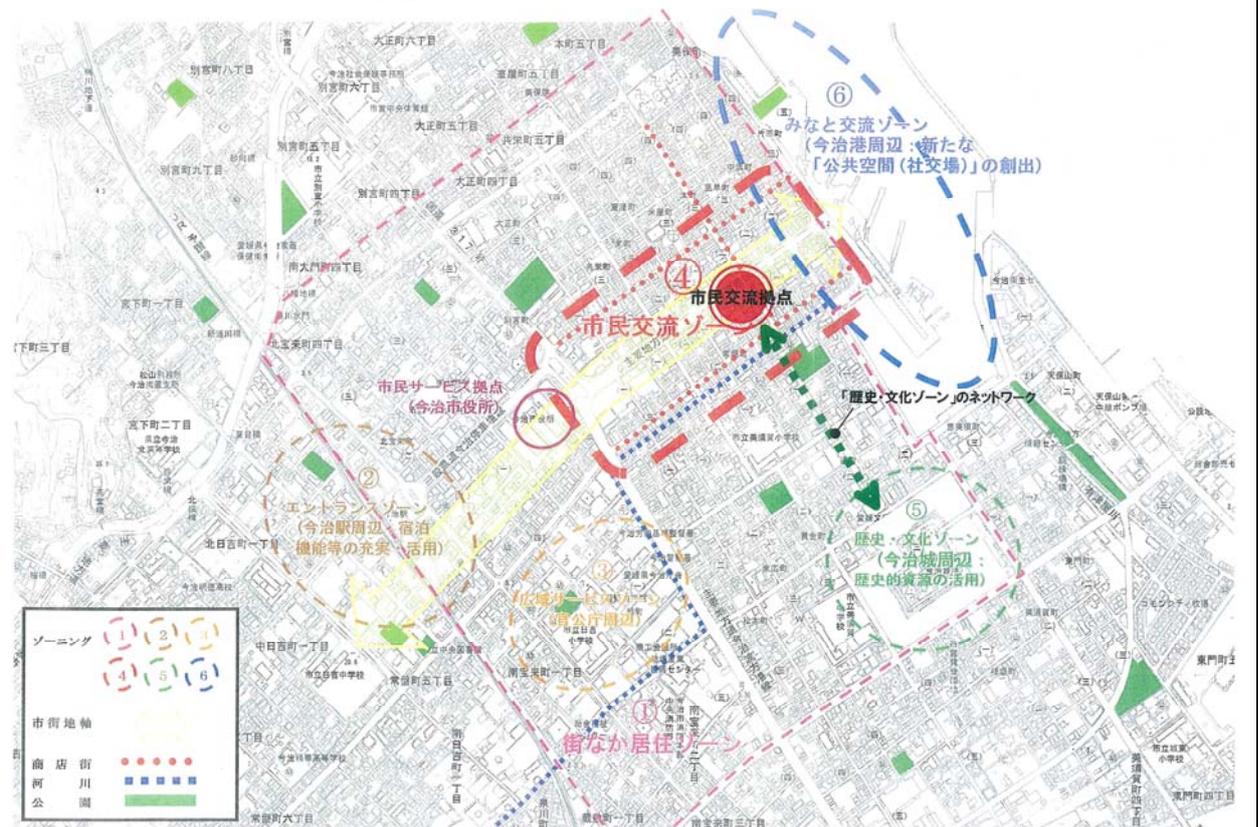
【その他市民サービス機能】

- ・市各課の市民サービス機能 等

■ 整備方針

市民主体形成と交流による新たな賑わい拠点の形成

■ 中心市街地の将来の都市構造

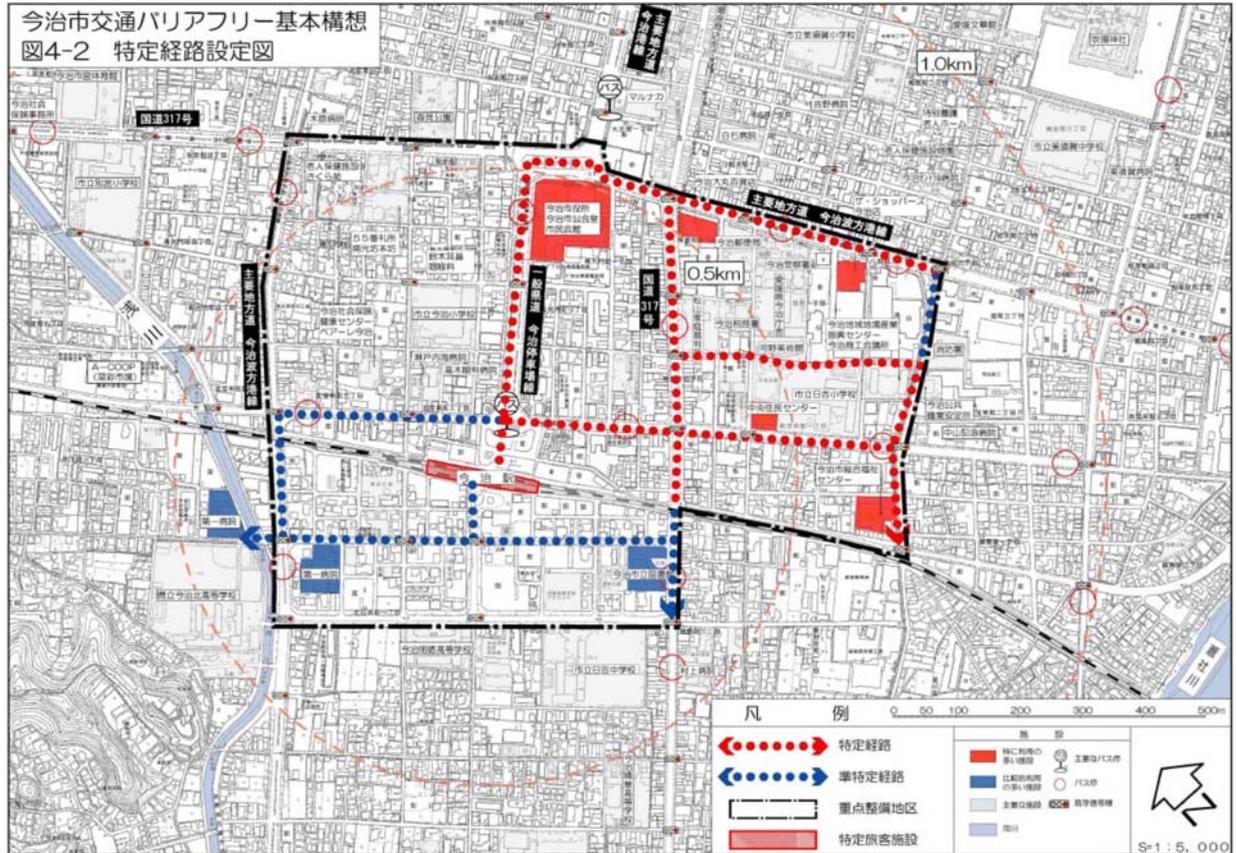


ゾーニング（拠点）

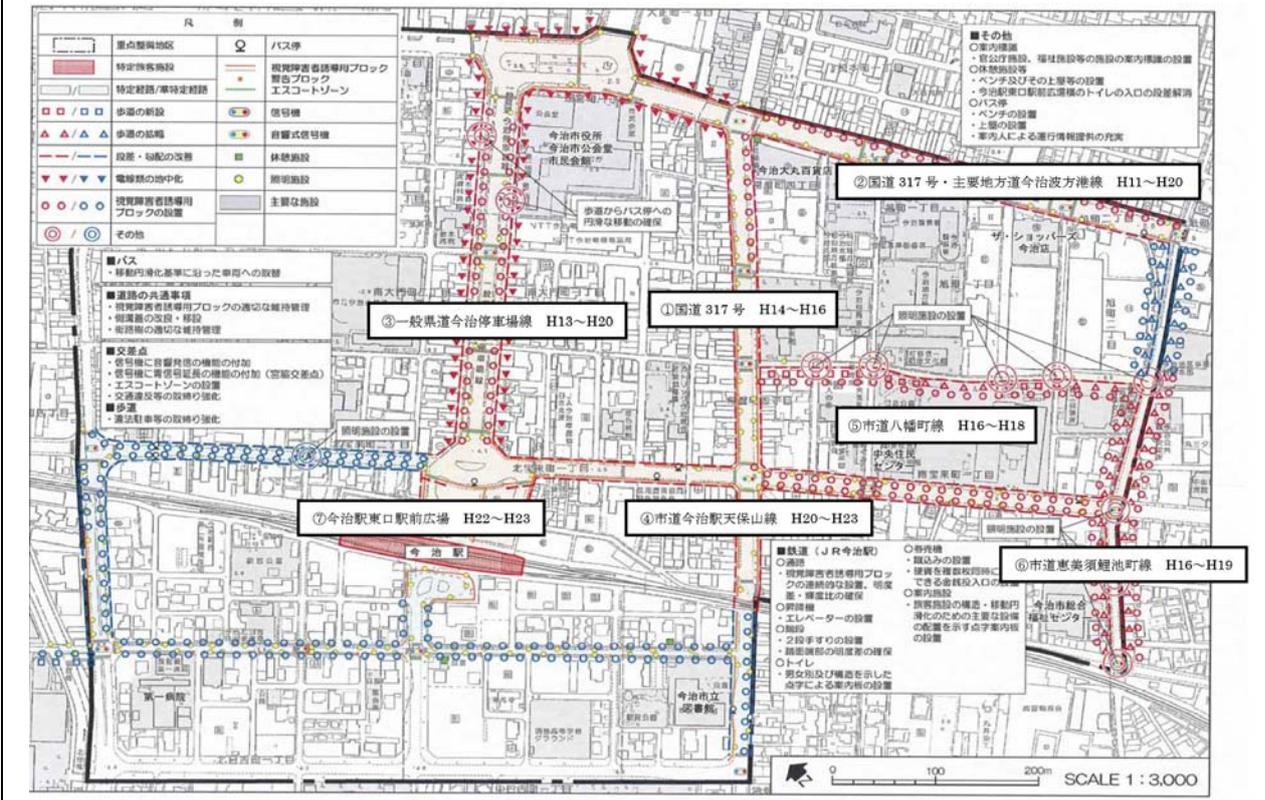
- ①街なか居住ゾーン（ピンク破線）
- ②エントランスゾーン（茶破線）
- ③広域サービスゾーン（オレンジ破線）
- ④市民交流ゾーン（赤破線）
- ⑤歴史・文化ゾーン（緑破線）
- ⑥みなと交流ゾーン（青破線）

計画名称	今治市交通バリアフリー基本構想
策定年次	平成16年3月（道路特定事業計画：平成17年11月）

■交通バリアフリー基本構想



■道路特定事業計画



計画名称	みなと再生構想（策定主体：みなと再生委員会）
策定年次	平成20年2月
基本コンセプト	<p>「交通」の港から「交流」の港へ</p> <p>今治シビックプライドセンターからはじまる、交流のみなとづくり</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 瀬戸内海を代表するような、今治市民の誇りとなる水辺空間の創造。</li> <li>2. 架橋時代に対応した新しい海の交通機能などを&lt;基本機能&gt;として整備するとともに、新たな時代に対応した&lt;交流機能&gt;の整備。</li> <li>3. 新しい今治市の玄関口としての立地条件を踏まえ、今治市や中心市街地、島しょ部との連携を重視。</li> <li>4. こどもから高齢者まで、全ての人が安全・快適に過ごすことができるバリアフリー空間の実現。</li> <li>5. 事業の持続可能性を確保するために、事業規模の適正化を図ると同時に、事業の担い手となる組織イメージを明確にし、コトづくりを重視した事業計画の立案。</li> </ol>

■みなと再生の考え方



海事ビジネスゾーン

海事関連オフィスや陸と海の交通機能が集積し、港に日常的な活力を生み出すゾーン。「海事ビジネスセンター」を中核に「海事都市・今治」を象徴する都市的な景観を創出します。

- ◆海事ビジネスセンター  
海事関連の民間オフィスや行政機関、フェリーの待合・発券所、展望レストランなどが集積した都市型ビル。
- ◆交通ターミナル  
バスターミナルやタクシープールなど、陸上の交通ターミナル機能を集積。

シビックプライドゾーン

今治市民の誇りを創造する ICPC（今治シビックプライドセンター）を中核として、今治港に多彩な賑わいを生み出していく広場空間。多様なイベントに対応できるファシリティを整備します。

- ◆ICPC  
今治の街づくりを牽引する TMO 型組織である「ICPC」の活動拠点。
- ◆市民広場  
多様なイベントに対応する公共広場。市民の誇りを象徴するモニュメント「海への門」の設置を検討。

沖洲公園ゾーン

海への景観を楽しむ公園空間と、市民の文化活動の場を一体化。潤いのある環境の中から豊かな市民文化を育みます。

- ◆沖洲公園  
緩やかな傾斜を持った臨海公園。海への景観を楽しむ憩いの空間。
- ◆屋外ステージ  
公園のランドマークとなる屋外ステージ。
- ◆市民スタジオ  
市民の多彩な文化活動に活用される貸しスタジオ。

■整備イメージ

